

比較的評価の高い近隣ホールの調査 (事業運営に係る今後の方向を探るため)

北広島市芸術文化ホールと施設規模が類似しており、自主事業を実施している近隣の公共ホールの事例を紹介し、当ホールの状況と比較します。

事例② 岩見沢市民会館・文化センター（まなみーる）

1) 施設概要 (令和5年度 全国公立文化施設名簿より抜粋)

<input type="checkbox"/> 所在	岩見沢市九条西4丁目1-1
<input type="checkbox"/> 設置者 (所管)	市教育委員会 (教育部生涯学習・文化・スポーツ振興課)
<input type="checkbox"/> 管理運営機関	指定管理者 / (特非) ハマナスアート
<input type="checkbox"/> 竣工年月日 (開館日)	2003年6月23日 (2003年9月1日)
<input type="checkbox"/> 建設費	3,050 (百万円) (市)
<input type="checkbox"/> 敷地面積	17,095 m ²
<input type="checkbox"/> 建築面積	7,498 m ² (市) / 2,081 m ² (文)
<input type="checkbox"/> 建築延面積	4,986 m ² (市) / 3,745 m ² (文)
<input type="checkbox"/> ホール総席数	大ホール: 1,183席 / 中ホール: 514席
<input type="checkbox"/> その他	リハーサル室 3、楽屋 7、会議室 5、和室 1 展示室 1
<input type="checkbox"/> 併設・複合施設	音楽 1、その他 1、食堂

2) 指定管理者/NPO 法人 ハマナスアートについて (WEBサイトより抜粋)

NPO 法人ハマナスアートは、「いわみざわ公園野外音楽堂キタオン」や「まなみーる岩見沢市民会館・文化センター」の指定管理業務をはじめ、同ホールで行われるイベントの企画・運営・誘致・コンサルティング業務を専門としています。また、北海道教育大学岩見沢校との連携事業や、学校・施設等での出前型のワークショップ(音楽・美術・演劇・映像)に取り組んでいます。昨今において代表的な事業は、2019年に10回目を迎えた「JOIN ALIVE」を初回から共催・サポートするほか、岩見沢大合唱団「結」(2011-2013)、巨大人形劇「岩見沢人」(2014-2018)、交響詩岩見沢よ永遠に(2019)等の創造型事業にも力を入れており、地域の芸術文化における求心力となれるよう、日々努めております。

(沿革)

- 設立 平成13年2月7日
- 目的 この法人は地域に根ざした芸術・文化を創造、発信し、発展させていくとともに、市民が芸術・文化を享受する地域文化の増進に寄与する事を目的とする。

3) 事業実施内容(令和6年度)(資料①②③ P4~7)

「※」については、まなみーる以外の会場で開催する事業

□ 岩見沢市教育委員会の補助事業・委託事業(主催事業)

(補助事業)

- ・ そらち太鼓フェスティバル2024(キタオン) ※
- ・ 札幌交響楽団演奏会まなみーる DE クラシック2024(大ホール)
- ・ 14th マチの記憶ライブ2025(中ホール)

(委託事業)

- ・ 交響詩岩見沢普及啓発事業(まなみーる ほか)

□ 法人自主事業

(主催事業)

- ・ まなロビ Vol.57、58、59(まなみーるエントランスロビー)
- ・ キタオン利用促進事業(キタオン) ※
- ・ まなフェス2024(まなみーるエントランスロビーほか)

(共催事業)

- ・ 第7回スマイルダンスフェスティバル2024(大ホール)
- ・ JOIN ALIVE 2024(キタオン&グリーンランド) ※
- ・ 第13回打楽器演奏会(大ホール)
- ・ 弦楽アンサンブル演奏会2024(中ホール)
- ・ こどもミュージカル「オズの魔法使い」(市民会館 ほか)

□ 地域等との連携事業

- ・ いわみざわドラマシアター(2004-2011)
- ・ 岩見沢大合唱団「結」(2012-2014)
- ・ 巨大人形劇「岩見沢人」(2014-2018)
- ・ 空知遊覧(2016-2018)
- ・ そらち演劇フェスティバル・そらち音楽フェスティバル
(北海道空知ホール協議会)

4) 事業実施体制

- 事業制作 1名(チーフプロデューサー/常務理事・事務局長兼任)
 - ・ 事業によって1~2名を制作助手として作業する場合あり
 - ・ 「まなフェス」については全て総務スタッフの手作り事業
- 理事会(地域のアート関係有識者)
 - ・ 主催、連携事業に対する評議、相談を旨とする社内委員会

5) 特徴

- ホール運営等を専門とする事業者(地元NPO)である
 - ・ 自主事業実施に対する指定管理者の裁量範囲が広い
 - ・ 事業者からの市民、地域連携が図られている
 - ・ 専門的な見識を有する理事会が社内に設置されている
- ホール事業は企画系専門員が活性化の中心になっている
 - ・ 実施事業についてのPDCA評価が行われている
- 産・官・民が加わった芸術文化振興が目指されている
 - ・ 地域に専門的なNPOが生まれる土壌があった

6) 課題(と思われるところ)

- 指定管理業務の比重が大きくなり、企画専門員が不足している様子
- 実施事業の量も多く、地元NPOへの荷重が重すぎないか?

和6年度 芸術文化鑑賞促進事業補助金・岩見沢市委託事業 企画書(一覧)20240314

■ 芸術文化鑑賞促進事業補助金

No.	事業種別	概要		市補助金(予定)	予定集客数
1	日本芸能技術交流	事業名	そらち太鼓フェスティバル2024	600,000	700
		会場	いわみざわ公園野外音楽堂キタオン		
		日程	2024年6月16日(日)		
		企画内容	空知太鼓連盟との共同開催事業。 空知管内に在籍する太鼓団体12団体が出演。また、北海道道内から実力のある太鼓団体を3団体招致し、打ち手同士の技術交流も兼ねて実施する。 出演: そらち太鼓連盟加盟団体より 12団体程度を予定 ゲスト: 道内太鼓団体 2団体、太鼓以外の芸能ジャンルより1団体 予定		
No.	事業種別	概要		市補助金(予定)	予定集客数
2	音楽鑑賞	事業名	札幌交響楽団演奏会まなみーるDEクラシック	1,800,000	600
		会場	まなみーる岩見沢市民会館大ホール		
		日程	2024年12月22日(日)		
		企画内容	札幌交響楽団の岩見沢定期公演として位置づけ、これまでに16回実施。兼ねてからクラシックファン・演奏家が多い岩見沢市にとって、非常にニーズの大きい演目である。2024の企画内容として「クリスマス」にちなんだクラシック曲をチョイスする。 指揮: 横山 奏 管弦楽: 札幌交響楽団 演奏曲: チャイコフスキー「くるみ割り人形」他調整中		
No.	事業種別	概要		市補助金(予定)	予定集客数
3	総合芸術・アーティスト育成	事業名	14th マチの記憶ライブ2025	1,100,000	500
		会場	まなみーる岩見沢市文化センター中ホール		
		日程	2025年2月9日(日)		
		企画内容	まなみーるの看板イベントであり、過去13回開催。全て手づくりの事業。岩見沢にゆかりのあるアーティスト(在住者・出身者)を起用し行われるライブイベント。アーティストの演奏・演技のみならず、その生い立ち・マチの記憶・今後の目標などにフォーカスすることで、来ていただいたお客様に愛着を持ってもらうことが狙い。 出演: 現在調整中		

■ 岩見沢市委託事業

No.	事業種別	概要		市委託料	予定参加者数
4	普及啓発保存	事業名	交響詩岩見沢普及啓発事業	500,000	200
		会場	まなみーる 他		
		日程	通年		
		企画内容	引き続き「交響詩岩見沢」の楽曲普及および保存を目的とした取り組みを展開する。 R5年度は新たな音楽監督として岩見沢出身の横山琢哉氏を迎え、一般市民150名からなる特設合唱団を設立し、岩見沢市開基・市制施行周年式典で交響詩岩見沢を演奏した。 R6年度はさらに対象年齢を掘り下げる。岩見沢市内の小中学校又は中学校のいずれかにモデル校を定め、指導者を派遣し普及に務める。その成果発表として、10月に開催される子ども文化祭の特別アトラクションとして「交響詩岩見沢」を演奏す		

市補助金(合計)	市委託料	予定集客数(合計)
3,500,000	500,000	2,000
(円)	(円)	(名)

令和6年度 会館自主事業および共催事業 収支計画書(一覧) 20240326稿

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
事業名	スマイルダンス	JOIN ALIVE	まなロビ57	キタオン促進	まなフェス	まなロビ58	打楽器演奏会	弦楽アンサンブル	まなロビ59	少年少女
会場	キタオン	いわみざわ公園	まなみーるロビー	キタオン	まなみーる	まなみーるロビー	まなみーる大	まなみーる大	まなみーるロビー	まなみーる中
開催形態	共催	共催	主催	主催	主催	主催	共催	共催	主催	共催
開催予定日	2024.5/11(土)	2024.7/13-7/14	2024.7~8月	2024.7~8月	2024.夏季	2024.10月	2024.11月	2024.11月	2024.12月	2025.2月

■ 収入

	スマイルダンス	JOIN ALIVE	まなロビ57	キタオン促進	まなフェス	まなロビ58	打楽器演奏会	弦楽アンサンブル	まなロビ59	少年少女	事業費計
受託売上	220,000	1,000,000	0	0	0	0	0	0	0	174,000	1,394,000
自己資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収入合計	220,000	1,000,000	0	0	0	0	0	0	0	174,000	1,394,000

■ 支出

	スマイルダンス	JOIN ALIVE	まなロビ57	キタオン促進	まなフェス	まなロビ58	打楽器演奏会	弦楽アンサンブル	まなロビ59	少年少女	事業費計
報酬	0	180,000	0	0	44,000	0	0	0	0	0	224,000
旅費・通信費	8,800	118,000	0	5,500	5,500	0	8,800	8,800	0	8,800	164,200
消耗品費	5,500	261,000	5,500	11,000	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	316,000
食糧費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	0	0	0	22,000	0	0	0	0	0	0	22,000
広告費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保険料	2,750	5,500	0	0	0	0	2,750	2,750	0	0	13,750
委託料	22,000	154,000	66,000	33,000	0	66,000	0	0	66,000	33,000	440,000
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	55,000	0	0	0	0	0	55,000
支出合計	39,050	718,500	71,500	71,500	110,000	71,500	17,050	17,050	71,500	47,300	1,234,950
まなみーる収支	180,950		-71,500		-110,000	-71,500	-17,050	-17,050	-71,500	126,700	-50,950
キタオン収支		281,500		-71,500							210,000



2011年3月21日(月・祝) 15:30開場/16:00開演

まなみーる岩見沢文化センター【中ホール】
入場料 大人 700円/中高生 500円/親子 1,000円
※全額返金・小学生以下無料 (大人名・中学生迄)



いわみざわドラマシアター(2004-2011)

高校演劇をサポート。各校の演劇部が一堂に会して、年1で作品を作り上げる。

NPO 法人ハマナスアートは事務局機能、資金調達、広報宣伝、舞台制作を担当。

助成金は

岩見沢市教委「文化のまちづくり事業補助金」

北海道文化財団「まちの文化創造事業」

等を利用



岩見沢大合唱団「結」(2012-2014)

市内コーラスグループの垣根を外し、岩見沢全体で巨大な合唱団を設立。

地域の詩「交響詩岩見沢」を札幌交響楽団の伴奏で全楽章演奏した。(まなみーる・キタオンで実施)

その後も、交響詩岩見沢事務局を担い、2023年には岩見沢市周年式典で交響詩岩見沢を演奏。

助成金は

岩見沢市教委「文化のまちづくり事業補助金」

北海道文化財団「まちの文化創造事業」

北海道「地域づくり総合交付金」

等を利用



巨大人形劇「岩見沢人」(2014-2018)

チェコ在住の人形劇師・沢則行氏を監督に迎え、人形劇団を設立。

岩見沢市民や北海道教育大学岩見沢校の学生など、スタッフ含め50名程度の劇団に発展。

年1で岩見沢市内での公演を実施。その他、札幌市中島公園や長野県飯田市で行われる人形劇フェスへのゲスト出演を複数回はたす。

助成金は

岩見沢市教委「文化のまちづくり事業補助金」

北海道文化財団「まちの文化創造事業」

北海道「地域づくり総合交付金」

等を利用



写真：「地域力を高めるアートマネジメント人材育成事業
空知遊覧 2018 報告書」より転載

空知遊覧(2016-2018)

北海道教育大学岩見沢校主催。NPO 法人ハマナスアートは舞台制作・施工監督およびアートマネジメント講師として参加。

フランスよりサーカス系アーティストを招聘し、岩見沢市内で一定期間レジデンス・クリエーションを行い、アルテピアッツァ美唄・まなみーる・北海道ワイナリー(浦臼町)・岩見沢市駅東市民広場で成果発表を行った。

助成金は

文化庁 大学における文化芸術推進事業
を利用



北海道空知ホール協議会

北から深川市・滝川市・砂川市・奈井江町・岩見沢市と、上川地区から富良野市が加わり、ホール間の情報交換会を定期的の実施。そこから発展し、そらち演劇フェスティバル・そらち音楽フェスティバル等を各都市持ち回りで実施してきた。

